



REGIONAL SERIES

スカイランニング 地域シリーズ

IYA SKYRUN

祖谷スカイラン2025(第5回)

OFFICIAL PROGRAM

主催 四国スカイランニング協会



2025.5.18(sun)

Contents

大会概要	1 page
スケジュール	2 - 3 page
競技規則	4 - 9 page
コース図	10 page
会場図	10 - 11 page



大会ホームページ



コース・会場 (Google map)



スタートリスト

皆様へ

この度は「祖谷スカイラン2025」にお申込みいただきまして、誠にありがとうございます。本大会は、これまで4回開催してきましたが、回数を重ねながら大きな大会にしていきたいと考えています。メインフィールドは国見山となりますがコースを見直し、大歩危駅周辺をスタートし山頂までを往復する「シングルクラス」と、大歩危駅周辺をスタートして山頂を踏んだあと後山峠（うしろやまとうげ）に下りて折り返す「ダブルクラス」を設定。ダブルクラスは1度のレースで2回登山するコースです。16kmの距離で2020mの累積は、「スカイランニング」という山岳競技を意識したコース設定となっており、祖谷の急峻な地形や地質を体感していただけることと思います。今回も、地元の方々の多大なご協力を得て開催に至っています。皆さんに楽しんでいただけるよう準備してまいります。ご来場を心よりお待ちしております。

四国スカイランニング協会 代表理事 杉本 雅昭

大会概要

主催 四国スカイランニング協会

運営協力 三好市、三好ジオパーク推進協議会、一般社団法人三好市観光協会、徳善自治会、有宮神社氏子一同、阿弥陀堂一同、徳善神代踊り保存会、大歩危駅活性化協議会、徳善襖絵からくり舞台実行委員会、集落をぶらぶら 里山のぼり はにかむ体験、やましろ戦国 国ざかいめぐりの会

協賛 COMPRESSPORT、MEDALIST、rig footwear、香川シームレス株式会社、Actcyc(アクトサイク)、OWL MILS

競技内容 スカイランニングレース（ショートスカイ種目）

カテゴリー ①シングル男子 ②シングル女子 ③ダブル男子 ④ダブル女子

距離(累積) シングルクラス：9.1km(1,280m) ダブルクラス：16.1km(2,020m)

表彰(男女別) 各カテゴリー上位1～10位（副賞は3位まで）

各カテゴリー40歳以上の10歳毎の年代別1位（上位入賞者も含む）

2025-26四国シリーズ1位（ダブルクラス）

[ダブルクラスの優勝者（男女）は全日本選手権（スカイ種目）への招待権（1レース）](#)

計測 株式会社イーツリーズジャパン

大会事務局 人力企画 徳島県海部郡美波町東由岐字大池170-5 TEL.050-5470-2917

スケジュール&注意事項

07:00 指定駐車場開場（下名小学校特設臨時駐車場）

- ・大歩危駅周辺には駐車場がありません。応援者も下名小学校特設臨時駐車場をご利用ください。
- ・下名小学校の駐車場入口には緑色のビブスを着用した誘導員がいます。駐車場所はスタッフの指示に従ってください。

07:00 受付開始（下名分館入口）

- ・受付では計測用リストバンド、ゼッケン1枚（腹部前面に付けること。折り畳み不可。ジャケット着用する場合はジャケットの上に付けてください）、参加賞、安全ピン4個、手荷物預け用ビニール袋1枚をお渡しします。
- ・更衣室は下名分館の指定部屋とゴール地点の歩危マ・ジャンクションに更衣テントを用意します。

08:00 開会式・競技説明（下名小学校体育館←下名分館の2階）

- ・開会式終了後、各自徒歩にてスタート地点に移動（約1km）。

08:00 手荷物預かり、スタート準備（歩危マート上スタート地点）

- ・スタート地点横で手荷物を預かります。受付でお渡しするビニール袋に入れてお預けください。ゴール地点で返却します。貴重品は各自で管理してください。
- ・ゴール後の着替え、受付でお渡しした参加賞（当日のみ使用できる歩危マートの商品券600円分）と炊出券を手荷物としてご準備いただくと、ゴール後に会場周辺で過ごしやすと思います。
- ・商品券はお釣りができません。現金やキャッシュレス決済もご用意ください。
- ・歩危マ・ジャンクションから約1kmの「大歩危峡まんなか」というホテルに入浴施設があります。受付時に割引券をお渡ししますので、ぜひご利用ください（利用時間：12時～17時）。
- ・スタート時刻の5分前までにスタート地点にお越しください。
- ・ウォーミングアップは車が走っていない山道等をお願いします。

09:00 一斉スタート（歩危マート上スタート地点）

- ・必携装備品（ジャケット。雨天時はレインウェア）をチェックします。ジャケットを携行していない場合は失格とし、走行不可。

ゴール（歩危マ・ジャンクション）

- ・飲物と、ご自身の荷物を受け取ってください。
- ・表彰式までは自由行動です。炊出は歩危マート2号店でご用意しています。
- ・記録証は電子記録証となります。大会当日の夜に大会HPに掲載するリザルトページからリンクできます。
- ・ゴール地点に更衣テントを用意しています。
- ・歩危マート2号店で提供する炊出を食べ、歩危マートにて参加賞で買い物するなどして、表彰式をお待ちください。

12:10 シングルクラス ゴール制限

12:10 シングルクラス表彰式（歩危マ・ジャンクション）

12:30 シングルクラス解散

14:00 ダブルクラスゴール制限（歩危マ・ジャンクション）

14:00 ダブルクラス表彰式（歩危マ・ジャンクション）

14:30 ダブルクラス解散

※表彰式の無断欠席者は失格となります。先に帰る方は必ずスタッフにお申出ください。

参加者・応援者の方は次ページの競技規則を必ずご確認ください。本大会は、国内の関連するすべての法令を遵守して開催されます。また本大会はJSA（日本スカイランニング協会）公認のスカイランニングレースであり、2025JSA競技規則が適用されます。

競技規則

1 競技者・応援者の規範

1-1. 自然環境への配慮

- ・競技者はコースのマーキングをたどり、登山道があるところでは道から外れることなく、踏圧による登山道の拡幅防止や植物の保護に努めなくてはならない。
- ・コース上及び全区域で動植物、菌類、岩石などを採取、損傷してはならない。
- ・自分で持ち込んだものをレース中にごみとして捨ててはならない。
- ・トイレは大会が指定したトイレを使用すること（コース上はエイド近くのポップアップテント内に用意してある携帯トイレを使用。使用した携帯トイレはテント内の処理箱に捨てることことができる）。

1-2. 安全への配慮

- ・競技者は自らの意志でリタイアでき、またスタッフによりリタイアを強制されることがある。
- ・緊急事態を除きリタイアできる場所は、エイドステーションと会場から約600m進んだ徳善集落のみとする。
- ・競技者は怪我をしたり疲労困憊状態になったりしている他の競技者を救護支援しなければならない。大会審判員はこの支援に費やされた時間を考慮にいれる。
- ・レースディレクターやチェックポイントのスタッフはコース上のいかなる場所であっても競技者にウインドブレーカーもしくは他の必携ウェアや装備を装着するように強制することができる。

1-3. 一般利用者や他の参加者への配慮

- ・コース内でペースが遅い選手を追い抜く場合は「はい！」等と声をかける。声をかけられた選手はコースから速やかによけて進路を譲らなくてはならない。
- ・コース幅の狭い場所や滑落の危険がある場所（黄色のカラーテープが横貼りされている場所）では追い抜きをしてはならない。
- ・コースは大会で占有しているものではなく、一般利用者も使用していることを十分に理解し、その通行を妨げてはならない。
- ・スタートしてから約600mにある徳善屋敷・徳善阿弥陀堂下の舗装路区間は一般車両の通行があるため、道路への飛び出しはせず、通行には十分に注意をすること。車道通行時は左端通行をすること。
- ・シングルクラスは国見山山頂までの往復コースのため、対面通行になることがあることを十分留意し、選手同士でコミュニケーションをしっかりとって、道を譲りあうこと。特に急傾斜箇所や道幅が狭い所では注意が必要。

1 - 4. 障害のある方へ * 事前に事務局にご連絡ください

- ・追い抜きの際の声かけに気づくことが難しい聴覚障害がある選手の場合は、他の選手にも障害が分かるよう前部・背部にサインを表示する必要がある。
- ・足元の路面状況の確認が難しい視覚障害のある選手の場合、長さ3 m程度の誘導棒（物干し竿のような硬い棒）で選手の前後に2名以上の伴走者をつけなければならない。

1 - 5. 応援者の方へ

- ・車は指定駐車場（下名小学校）に駐車すること。
- ・競技の公平性を保つため、大会が指定するエイドステーションの半径50メートルの範囲外では選手サポートをすることはできない。
- ・応援にあたっては自己責任での行動ということを十分に理解し、行動中の自己の安全には十分注意しなくてはならない。
- ・参加選手と同様に登山のマナー・ルールを守り、ゴミを拾うなど登山道の美化に努めなくてはならない。

2. 罰則

2 - 1. ペナルティ

以下のことに対して3分のペナルティから失格までの罰則が適用される。

- ・エイドステーションの外でゴミを捨てた場合。
- ・（エイドステーションなどの指定された場所ではない）認可されていない場所でサポートを受けた場合。
- ・自発的であってもそうでなくても、レースコースの標識に従わなかった場合。
- ・ゼッケンが見えない場所にあたり、許可なく改ざんしたりした場合。
- ・フライングスタートした場合。
- ・助けを必要としている他の競技者を助けられないなど、スポーツマンらしくない振る舞いをした場合。
- ・必携とされているものを携行、もしくは指示されても使わなかった場合。
- ・運営団体や審判員の指示に従わない場合。

2 - 2. 失格

失格となるのは以下の場合である。

- ・指定駐車場ではない場所に駐車した場合。
- ・表彰式に正当な理由なく出席しなかった場合。
- ・ドーピングテストを受けるのを拒否したり、テストで陽性が出た場合。
- ・追い抜こうとする選手の進路を故意に妨害した場合。
- ・禁止装備品の携行時や使用時。

3. 装備

3-1. 必携装備

- ・ゼッケン&計測用リストバンド *当日受付で配布。ゼッケンは必ず前部（腹部）に折りたたまず付ける。
- ・シューズ（スカイランニングに適したもの）
- ・スカイランニングやスピード登山に適した服装・防寒用ジャケット（雨天時は防水ジャケット等の雨具）
- ・仮装は不可。
- ・当日の気候によって変更がある場合がある。変更の場合は開会式で最終アナウンスが行われる。

3-2. 推奨装備

- ・飲料
- ・補給食
- ・ファストエイドキット
- ・携帯電話
- ・携帯トイレ
- ・軍手類
- ・帽子などの寒さ暑さ対策品

3-3. 禁止装備

- ・サンダル類
- ・イヤホンやヘッドホン類
- ・ボールの使用は可とするが、路面等の保護のため先端にはカバーをつけなければならない。

4. エイドステーション・救護体制

・エイドステーション：

水、スポーツドリンク（1回の通過毎紙コップ3杯まで。現地で飲むor.ボトルに入れて持出しも可）

個包装菓子（1回の通過毎3個まで。持出し不可）

エイドステーションで提供した個包装菓子の包装と紙コップのゴミはエイドで捨てることができる。

- ・応援者による私的サポートは、エイドステーションの半径50m以内であれば可とする。
- ・救護：歩危マ・ジャンクションにて待機。誘導スタッフ・エイドスタッフは救急セットを持っています。

5. 制限時間 * ゴール制限時刻不通過者は順位がつかない。

・シングルクラス

関門-無し

ゴール制限 (12時10分/スタートから3時間10分後)

・ダブルクラス

第一関門-国見山山頂 (11時10分/2時間10分後) 不通過者は先に進めず徒歩でゴール地点に戻る

第二関門-金毘羅神社前 (11時45分/2時間45分後) 不通過者は送迎車にてゴール地点に戻る

ゴール制限 (14時00分/スタートから5時間後)

6. 救助及び医療援助の体制

- ・競技が安全に行われるために、大会側では道迷い防止のためのコースマーキングと転滑落危険箇所での注意喚起のためのサインの表示と、救助及び医療援助体制を準備する。選手はスカイランニングという自然の中で行われる競技に危険が伴うことを十分に認識し、ケガ、病気、事故などに対して、自己の責任において大会に出場する。
- ・応急処置の救護所は歩危マ・ジャンクションに設置。救護所は大会本部と携帯電話で連絡をつなげる。
- ・応急処置は、参加登録の有無に関わらず、本大会に関係するあらゆる人々を危険な状況から救助するために行うものとする。
- ・救護者には、これ以上競技を続けられない選手に、競技を中止させる権限があり、中止となった場合、計測用リストバンドを回収することとする。
- ・レースを中止した場合、その場からフィニッシュ会場まで徒歩で戻る。徒歩が不可能な場合は、スタッフに収容車を要請してフィニッシュ地点まで戻ることができる。タクシーなどを呼ぶ場合の費用は自己負担とする。
- ・救護される方にその必要があると判断された場合、救助隊を呼ぶことがある。この場合にかかった費用は救護された方の負担とする。
- ・大会本部やスタッフに連絡がとれなかった場合、「119」などで直接救急サービスを呼び出してもかまわない。ただし、その際は本大会の参加者であることを告げ、スマートフォンによる位置情報等を目安に自分の位置を告げる。
- ・大会主催者の加入する選手の事故・傷病への補償をする傷害保険の範囲は以下とする。
 - ・死亡、後遺障害 3,000,000 円
 - ・入院 (日額) 3,000 円
 - ・通院 (日額) 2,000 円

7. リタイアと通過人数

- ・選手は必ず競技中リストバンド及びゼッケンを装着しなければならない。
- ・リタイアを申請できる場所は、エイドステーションと会場から約600m進んだ徳善集落のみとする（緊急事態を除く）。
- ・リタイアする場合は、必ず近くのスタッフにゼッケンナンバーを告げ、その場でリストバンドをスタッフに返却することとする。
- ・リストバンドはフィニッシュ後に歩危マ・ジャンクションにて回収し帰還確認とする。
- ・リストバンドを紛失した場合は、2,000円前後の実費を請求することがある。
- ・リストバンドが返却されない場合、大会中の行方不明者として取扱われ、大会・警察・消防の捜索隊出動となる場合がある。
- ・スタート時は、全クラス一斉スタート（計測機へのタッチは不要）。通過チェックのため、関門、国見山山頂、ゴール時はリストバンドを計測機にタッチさせること。

8. 責任

8-1. 主催者の責任

- ・参加者の故意によらないコース上の器物破損（対動植物、対物の事故、登山道の崩壊など）
- ・コース上のマーキング及び案内看板の設置。
- ・スタッフの安全管理。

8-2. 選手の責任

- ・このレースの参加にあたって、すべてを自己責任とする。

9. 大会中止等の判断とその周知について

下記の事由により大会の開催・継続が困難と大会本部が判断した場合は、大会中止又は大会途中の中断をする。なお、大会開催日の延期はない。

- ・気象警報発令時（大雨特別・暴風特別・大雨・洪水・暴風等）
- ・コース途中における崖崩れ、落石など参加者の安全を確保できないと判断される場合。
- ・「土砂災害警戒情報」が発表された場合。
- ・大会開催に当たって、安全面で問題ない場合でも、登山道の状況が多数の参加者の利用に耐えることができないと判断した場合、歩行区間の設定やコースの変更、大会中止の判断をする可能性がある。
- ・噴火、地震、風水害、降雪、事件、事故、疫病などによる開催縮小、中止、通知方法などについてはその都度大会本部判断し決定する。
- ・熊・蜂等、有害鳥獣・病害虫の出没により参加者の安全を確保できないと判断される場合。

- ・大会中止の判断は大会当日又は前日までに大会ホームページにて発表する。
- ・レース中に中止・中断を決定した場合、参加者へは直近のスタッフが通知する。
- ・大会中止・中断の場合でも原則として参加費の返金はしない。

1 0. 大会出場中の著作権、掲載権

- ・イベント中の写真、映像、記録等について、報道、出版物、インターネットなどへの掲載権は主催者に属す。

1 1. JSA 公認

- ・本大会は JSA（日本スカイランニング協会）公認のスカイランニング競技会である。

1 2. GPSデータについて

- ・GPSデータ(.gpx)は、大会ホームページの「競技説明」のところからダウンロードできます。

1 3. コースの表示について



マーキングテープ

- ・オレンジ色：約30m毎に設置。このテープを辿って進んでください。
- ・黄色：立入禁止箇所や危険な箇所に横張っています。



矢印看板

大きな分岐等に設置。この看板があるところでは、矢印の方向に進んでください。

コース図



会場全体図



詳細図①



詳細図②

